

平成29年度入学試験	受 験 番 号	番	氏 名	解 答
算数選抜 解答用紙				

途中の計算もすべて書きなさい。
図や表や考え方がわかるようなこともできるだけ書きなさい。

〔1〕

- (1) 64 は、 8×8 の正方形に数字が書かれたときの最も左上の数字である。
このとき、最も右上の数字は、

$$64 - 8 + 1 = 57$$

(答)

57

- (2) 36 は 6×6 のときの左上の数字であるから、その左は 37 で、さらにその下は 38 である。
よって、ア=38
81 は 9×9 のときの右下の数字であるから、その右下は $11 \times 11 = 121$ で、さらにその 2 つ左は 119 である。
よって、イ=119
したがって、ア+イ=38+119=157

(答)

157

(3)

257	256	255	…	…
258	197	196	195	…
259	198	145	144	…
260	199	146		
261	200	147		
:	:	:		

$14 \times 14 = 196$ であるから、
196 は 14×14 のときの左上の数字である。

196 の右下の数字は、 $12 \times 12 = 144$ であり、
196 の左上の数字は、 $16 \times 16 = 256$ であるから、
左の図のように数字が書かれる。

したがって、200 の左は 261、右は 147

261	200	147
-----	-----	-----

(答)

(4)

	…			
17	16	15	14	13
18	5	4	3	12
19	6	1	2	11
20	7	8	9	10
21	22	23	24	25
…	46	47	48	49
…	77	78	79	80
				82

左の図より、
ウが偶数のとき、その上下左右はすべて奇数であり、
5 つの数字の和は偶数となる。
ウが奇数のとき、その上下左右はすべて偶数であり、
5 つの数字の和は奇数となる。
いま、5 つの数字の和 248 は偶数であるから、
ウは偶数であることがわかる。

ウ=50 のとき、
ウ+上+下+左+右=50+51+81+49+83=314
ウ=48 のとき、
ウ+上+下+左+右=48+25+79+47+49=248

(答)

48

合	計
---	---

平成29年度入学試験 算数選抜 解答用紙	受 験 番 号	番	氏 名	解 答
-------------------------	------------------	---	--------	-----

途中の計算もすべて書きなさい。
図や表や考え方がわかるようなこともできるだけ書きなさい。

〔2〕

- (1) 5番目の立体の1つの面において,
1つの面が塗られているブロックの個数は,
 $(5-2) \times (5-2) = 3 \times 3 = 9$ (個)
これが6面あるから,
 $9 \times 6 = 54$ (個)

- (2) 9番目の立体において,
どの面も塗られていないブロックの個数は,
 $(9-2) \times (9-2) \times (9-2) = 7 \times 7 \times 7 = 343$ (個)

(答) 54 個

(答) 343 個

- (3) 3つの面が塗られているブロックの個数は,
何番目の立体においても8個である。

よって、1つの面が塗られているブロックの個数は,
 $8 \times 27 = 216$ (個)

求める立体は立方体であり、面は6つであるから,
 $216 \div 6 = 36$

$36 = 6 \times 6 = (8-2) \times (8-2)$ であるから,
これは図2の8番目の立体である。

(答) 8 番目

- (4) 1つの面が塗られているブロックの個数をア(個)とし,
2つの面が塗られているブロックの個数をイ(個)とする。
3つの面が塗られているブロックの個数は8(個)である。

(解答1)
1つの面が塗られているブロックの個数は384個。
求める立体は立方体であり、面は6つであるから,
 $384 \div 6 = 64$

$64 = 8 \times 8 = (10-2) \times (10-2)$ であるから,
これは図2の10番目の立体である。

いずれかの面が1つ以上塗られているブロックが
全部で488個あることから,
 $\text{ア} + \text{イ} + 8 = 488$ すなわち $\text{ア} + \text{イ} = 480$

(解答2)
2つの面が塗られているブロックの個数は96個。
求める立体は立方体であり、辺は12本であるから,
 $96 \div 12 = 8$

$8 = 10 - 2$ であるから,
これは図2の10番目の立体である。

また、1つの面が塗られているブロックの個数が,
2つの面が塗られているブロックの個数の4倍であるから,
 $\text{ア} = \text{イ} \times 4$ すなわち $\text{ア} : \text{イ} = 4 : 1$

よって、 $480 \div (4+1) = 480 \div 5 = 96$ であるから,
 $\text{ア} = 96 \times 4 = 384$, $\text{イ} = 96 \times 1 = 96$

(答) 10 番目

合 計	
--------	--

途中の計算もすべて書きなさい。
図や表や考え方方がわかるようなこともできるだけ書きなさい。

[3]

- (1) 30より小さい素数をすべてたすと,
 $2+3+5+7+11+13+17+19+23+29=129$

(答) 129

- (3) 13734を、割り切れるように素数で割っていく。
 このとき、小さい素数から順に割っていくと、

$$13734 \div 2 = 6867$$

$$6867 \div 3 = 2289$$

$$2289 \div 3 = 763$$

$$763 \div 7 = 109$$

109は素数であるから、

$$13734 = 2 \times 3 \times 3 \times 7 \times 109$$

(答) $2 \times 3 \times 3 \times 7 \times 109$

×	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

上の図において、素数でない数を × または線で消していく。
 1は素数でないから、×で消す。
 2, 5 の倍数は縦に並ぶから、縦線で消すことができる。
 3 の倍数は斜めに並ぶから、斜め線で消すことができる。
 7 の倍数は不規則に現れるため、×で消していく。
 残った数が素数であり、

20番目の素数は、71

(答) 71

(4)

201	202	203	204	205	206	207	208	209	210
(211)									220
221		(223)			(227)		(229)	230	
			(233)				(239)	240	
(241)									250

左の図において、(2)と同様に、
 素数でない数を × または線で消していく。
 2, 5 の倍数は縦に並ぶから、縦線で消すことができる。
 3 の倍数は斜めに並ぶから、斜め線で消すことができる。
 残った数のうち、7, 11, 13 の倍数を順に消していくと、
 211, 223, 227, 229, 233, 239, 241
 の 6 つの数が残る。
 これらが、200より大きく250より小さい素数である。

(答) 211, 223, 227, 229,
233, 239, 241

合	計
---	---